



TEC-FORCE活動報告会について

12月5日、帯広第2地方合同庁舎会議室で、台風19号による東北地方の被災地を支援するため派遣されたTEC-FORCE隊員の活動報告会が開催されました。被災地に派遣された河川・道路・応急対策（路面清掃車等）の各班の隊員から被害状況などの活動について報告がありました。現地調査ではドローンやレーザー距離計を使用することが作業の効率化につながったことや北海道開発局のロゴを見た地元住民から、遠いところから来てくれてありがとうと感謝の言葉をかけられ、やりがいを感じたことなどが紹介されました。また、今後のTEC-FORCEの活動をより効果的にするための提言も行われました。



活動報告会の様子←
主な活動場所は宮城県伊具郡丸森町や福島県須賀川市など



応急対策班出発式



応急対策班出発式



被災状況調査班出発式



被災状況調査班帰還報告



被災状況調査班・応急対策班
帰還報告

北海道開発局下請企業表彰式～栄誉を讃えて～

北海道開発局では、工事の品質確保及び下請企業の技術力の向上を目的として、優良な工事において、特に品質確保や技術力の向上に貢献した下請企業及び技術者を表彰しています。令和元年度優良工事表彰を受賞した工事に参加した下請企業のうち、優良な下請企業（5社）と技術者（4名）に対して、10月16日に帯広第2地方合同庁舎会議室にて、帯広開発建設部長から表彰状を手渡しました。部長は技術者の方々に向けて、これからも技術の研鑽に努め、より進化した現場施工を目指してくださいと式辞を述べました。



管内道路事務所出陣式～冬期間の道路の安全のために～

帯広開発建設部では管内国道延長約749キロメートルを帯広道路事務所、広尾道路事務所、足寄道路事務所の3事務所で分担し管理しています。冬期間の道路交通の安全確保及び降雪作業の安全を図るため、除雪機械を各除雪基地へ配備し除雪体制を整えたことに併せて、各事務所で除雪出陣式を開催しました。



高校生対象の現場見学会開催について

帯広開発建設部は、帯広工業高校2年生を対象に河川・道路・農業の各事業の現場見学会を開催しました。この現場見学会は平成26年度から開催しており、北海道開発局が実施している各種事業を理解してもらうことや建設産業に対して興味をもってもらうことが目的です。工事概要を説明した職員の中には同校卒業生もいました。高校生の皆さんが、将来の就職や進学を選択する際に、この見学会で見聞きしたことが参考になることを願っています。



十勝ダム施設見学

「士幌西部地区」の排水路工事現場見学

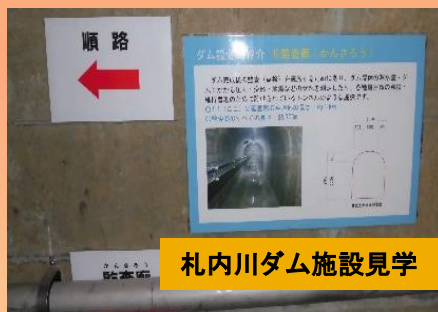


一般国道242号、道路改良、橋梁上部、舗装の3件の工事現場見学



自治体職員対象の現場見学会開催について

帯広開発建設部は、技術力の向上を図るために管内自治体職員（6町村参加）及び当部若手職員を対象に現場見学会を開催しました。橋梁補修工事の見学後、シュミットハンマーなどの検査機器の使い方を教わりました。導水路工事では、管を布設する様子を見学しました。札内川ダムでは、説明を受けた後、監査廊を見学しダムの役割について理解を深めました。



札内川ダム施設見学



コンクリートテスター
使用体験↑



芽室川西(二期)地区帯広かわにし
導水路広野西工区工事←

